

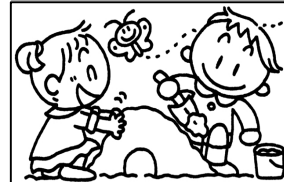
どろんこ

2025年2月20日(木)

699号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 吉戸 寿江



市長交渉

1月21日(火)副市長交渉を行い、2月6日(木)に市長交渉を行いました。

組合地域手当について新年度まで2ヶ月を切ったが、12%維持と理解して良いか。

交渉に出られない保育園職員のメッセージを届けた。大部分の問題は人員不足が解消すれば解決できる。

市長それぞれの職場で仕事に向き合い市民のために頑張っていることに感謝する。

地域手当は色々な要素を含め総合的に判断した。組合の主張にもあるように市としても人材確保にマイナスに働く懸念がある。よって、令和7年度の地域手当は12%のまま据え置きたい。なお令

和8年度以降については、国、県、他市の動向を見ながら検討したい。

放課後ルームの主任支援員と支援員の単価が縮まり職務に見合った待遇が確保できない面があり、人材確保をするために一部の職種については令和7年度から時給単価を引き上げる。

組合人員確保の観点からもリフレッシュ休暇制度の改善が必要ではないか。

市長他市とのバランスの中では難しい。今後は職員たちの素朴な意見を聞きながら検討していく。

その他の回答は「ふなみち」をご覧ください。

国会要請行動

「よりよい保育を！実行委員会」の保育署名提出と国会要請行動(2回目)が2月5日(水)に行われ、参加してきました。

午前中は情勢学習があり、「保育情勢と特徴と運動の課題」の題

で逆井直紀(保育研究所)さんが講演しました。

1歳児の配置基準について6対1から5対1に改善する「1歳児配置改善加算」措置が2025年4月から条件付きの加算措置として実施される。条件付きを外し最低基準の改定を求めていくことが必要。

つづいて、憲法学習講演があり、伊藤真さん(伊藤塾塾長・弁護士)が「憲法を生かし、社会をかえるには 人権・平和・民主主義」のテーマで講演しました。

「私たちは誰もが政治や憲法に無関心でいられても、無関係ではない。私たちが誰かが政治や憲法に無関心でいられても、無関係ではない。」という言葉が印象的でした。

午後は、衆議院議員会館に移動し、千葉県内の国会議員の部屋を回り、みなさんが集めてくれた保育の請願署名の紹介議員になってくれるよう、船橋の保育の状況や厳しさを訴えながら要請しました。

千葉県内では立憲7人、れいわ新選組1名の計8名が紹介議員になることを承諾してくれました。

〈保育学校参加者の感想〉

「夢中になって遊びこむ」

田中 浩司 先生 11月2日(土)

- ・「子どもの声」を大切に…とよく言われるが「〇〇したい」と言うことだけが子どもの声ではなく、言葉にできない思いやボソッと書いた言葉にかくれている思い、チクチク言葉を言う子の中にかくれている思い等いろいろある。それをすべて捨てるかという、大事だけど大変という話を聞いて、確かに！と思いました。「〇〇したい」と話してくれればわかりやすいけれど、必ずしもそうでない。楽しそうに遊んでいる子ども“たのしい”が何かは1人ずつ違うことも気付いて、(自分なりに想像しながら参加して楽しい、ただ真似するのが楽しい、楽しそうな様子を見て楽しい等)言葉に表われない思いをくみ取れるようにしたいと思いました。

「新年度に向けた安全と コミュニケーションのポイント」

掛札 逸美 先生 1月18日(土)

- ・「おパンツ問題」のお話しは初めて聞かせていただいたが、このように「子どもに～させたい。～が出来るようになってほしい」という思いからその部分しか見えずに保育を行ってしまうという問題はよくあるように思う。

「できるようになってほしい行動」がある時に、今の時点でそれができるようになる為には「どこが足りていないのか」考えること。その部分を育てていける接助をすることで、危険リスクを少なくしていけるということをあらためて強く感じた。

自園の保育の安全を守っていくために、この考え方を職員にぜひ伝えていきたい。

掛札先生のお話、とても楽しくて、学びになりました。



私たち、肩当になんでもやるよね

第1回中央委員会

2025年2月27日 (木)

18時00分～19時00分

受付開始 17時30分

船橋市役所 地下食堂

たくさんの参加をお待ちしています

車の方は14号から市役所入口近くの

オリックスレンタカー脇の道に入り

つきあたり左にある駐車場に

停めてください。17時以降300円です。

18:00を過ぎてしまう場合は、地下の入口

で職員証か保険証の掲示を求められ

ますので持参して下さい。